

平成23年9月29日―10月1日

第2回日本ジオパーク洞爺湖有珠山大会開催

ジオパークとツーリズム



私 たちの住んでいるこの地域が、2年前世界の地質遺産（ジオパーク）として、世界から認められました。現在世界で77地域しか登録されていない中、その一つに加えられたのです。

今秋その国内大会である第2回日本ジオパーク洞爺湖有珠山大会が、洞爺湖文化センターをメイン会場として開催されることになりました。

9月29日―10月1日に開かれる同大会には、国内外のジオパーク関係者、地域住民など合わせて約1000人の参加が想定されています。

「ジオツーリズムを通じた観光地づくり」をテーマにした同大会の開催は、洞爺湖有珠山ジオパークの訴求力を高め、世界ジオパークの再審査に向けた整備を加速させ、地域経済への効果や道内各地へのジオパークの広がりも期待できます。

これまでの取り組み

洞爺湖周辺地域4市町（伊達市、洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町）で構成する洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会（2010年2月、洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会へ改組）は、「世界ジオパークネットワーク」の登録認証に向けて活動を展開してきました。

2008年10月に世界申請に向け、候補地5地域から3地域に選ばれ、2009年8月に糸魚川、島原半島ジオパークと共に、国内第1号として世界ジオパークに登録されました。現在、国内の世界ジオパークは4地域に増えています。

ジオパークのエリアは、4市町のほか、洞爺火砕流の地質的に重要なポイントとして真狩村と留寿都村の一部が入っています。

ジオパークって何？

ジオパークのジオは、地球を意味し、地球活動の遺産を